



エコアクション21 環境経営レポート

Eco Action 21 Environmental management report #50 2023.09~2024.08

株式会社 足立技研 

2024年10月09日 作成

02版 2024年11月18日 改訂



環境経営方針

■ 環境理念

当社は顧客に信頼されるモノづくりを通じて
地球環境にやさしい事業活動に努めます

■ 環境経営方針

1. 省資源・省エネルギーを推進し、二酸化炭素の削減に取り組みます。
2. 電力使用量・水使用量・廃棄物排出量・化学物質使用量の削減に取り組みます。
3. IT化の推進による業務効率アップを図ります。
4. 自らが生産・販売・提供する製品サービスに関する環境配慮に取り組みます。
5. 環境関連法規を遵守して環境対策に取り組みます。
6. この方針は全社員に周知し、環境活動レポートを通じて社外へも公開します。

2019年11月21日
株式会社 足立技研

代表取締役 山川 修司



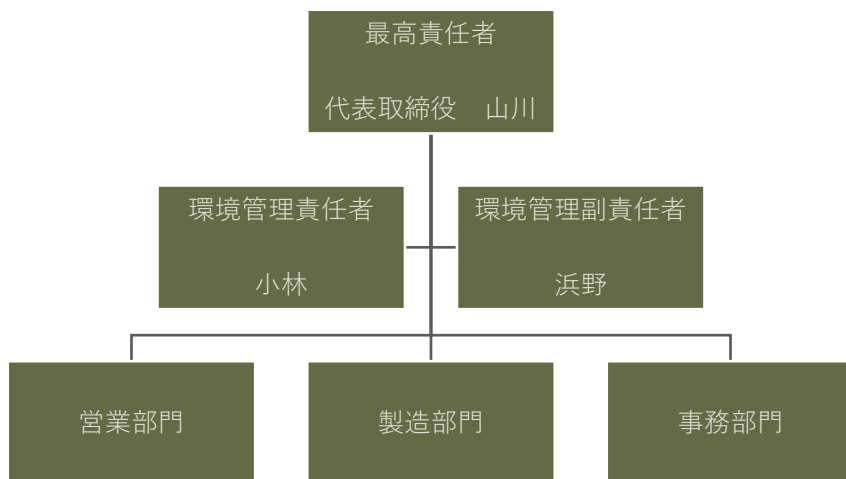
会社概要



会社概要

1. 事業者及び代表者名
 - ・ 株式会社 足立技研
 - ・ 代表取締役 山川修司
2. 所在地
 - ・ 東京本社
 - 121-0061 東京都足立区花畑1-35-26
 - ※登記のみの為、対象外
3. 適用範囲
 - ・ 対象事業所
 - 株式会社足立技研 埼玉工場
 - ・ 対象活動範囲
 - 埼玉県春日部市倉常263-1
 - ※本社は登記上の理由のみ
全社員は埼玉工場にて活動
4. 管理責任者及び連絡先
 - ・ 環境管理責任者
 - 小林 恵理
 - Tel/Fax : 048-748-1766/048-748-1710
 - Mail : mail@adachi-giken.co.jp
5. 事業内容
 - ・ 省力機器の部品加工及び組立
6. 事業規模
 - ・ 創立年月 昭和49年10月
 - ・ 資本金 1,000万円
 - ・ 従業員 8名

組織図



EA21に関する 役割・責任・権限

1. 最高責任者

- 環境経営方針の制定
- 環境管理責任者及び副責任者の任命
- 取り組み状況の評価と見直しの実施
- 文書類の承認
- 環境経営システムの実施・運用の経営資源の確保

2. 環境管理責任者

- 要求事項を満たすシステムを構築し実行。
- 環境面の実績を向上させる。
- 環境目標・環境活動計画の立案、文書類の作成。
- 最高責任者への活動状況報告。
- 環境活動レポートの作成及び更新。

3. 環境管理副責任者

- 環境管理責任者の補佐。
- 問題点の審議と解決策の立案。

4. 各部門従業員

- 環境経営方針を理解し環境活動計画に協力。
- 問題発生時に環境管理責任者及び副責任者へ報告。

実績値及び取り組み結果とその評価

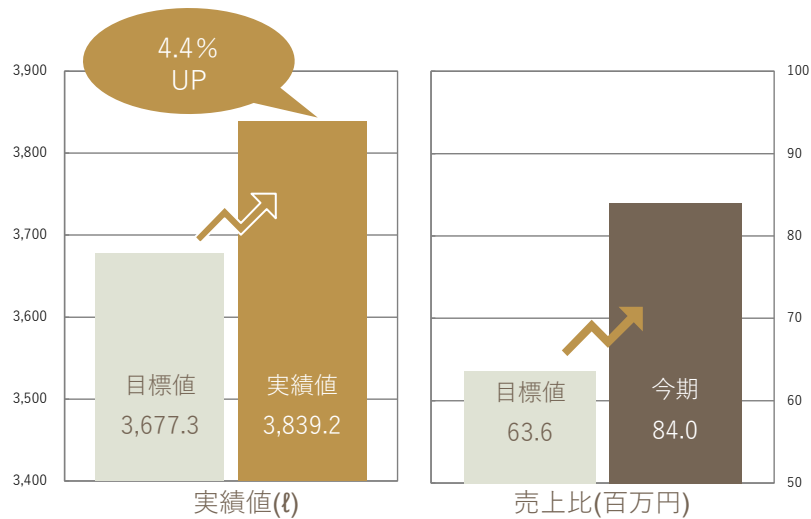
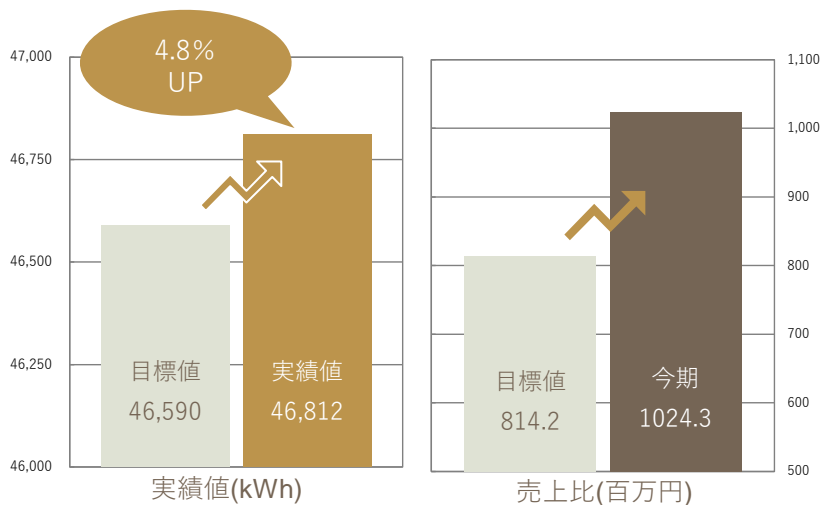
※売上比は参考値です。

■ 電力使用量 今期目標：実績値を評価対象とする。

-	実績値 (kWh)	売上比 (kWh/百万円)
46期(基準値)	47,061	814.2
目標値(-1.0%)	46,590	-
50期(今期)	46,812	1,024.3
評価	×	-
目標値より+4.8%で未達成。引き続き節電に努めると共に、CO2ゼロの電力会社についても検索・検討する。		
次期目標値	-1.0%	-

■ ガソリン使用量 今期目標：実績値を評価対象とする。

-	実績値 (ℓ)	売上比 (ℓ/百万円)
46期(基準値)	3,677.3	63.6
目標値	現状維持	-
50期(今期)	3,839.2	84.0
評価	×	-
目標値より+4.4%で未達成。エコドライブの遵守を改めて確認し、使用量の削減に努める。		
次期目標値	現状維持	-



実績値及び取り組み結果とその評価

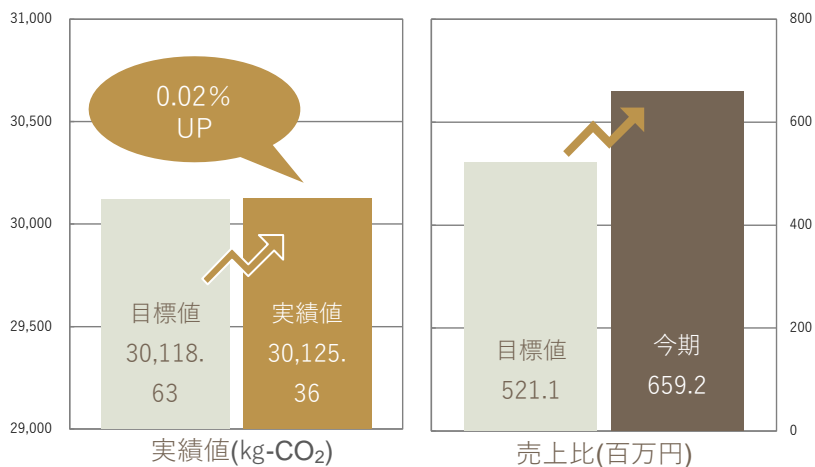
※売上比は参考値です。

■二酸化炭素排出量 今期目標：実績値を評価対象とする。

-	実績値 (kg-CO ₂)	売上比 (kg-CO ₂ /百万円)
46期(基準値)	30,118.63	521.1
目標値	電力とガソリンに準ずる	-
50期(今期)	30,125.36	659.2
評価	×	-
	基準値と比較し+0.02%で未達成。引き続き削減に努める。 排出係数：0.451(2021年度東京電力エナジーパートナー)	
次期目標値	電力及びガソリンに準ずる	

■化学物質使用量 今期目標：実績値を評価対象とする。

-	実績値 (kg)	売上比 (kg/百万円)
46期(基準値)	-	-
目標値	-	-
50期(今期)	50※	-
評価	○	-
	使用量の把握及び適切な管理が出来ていることを確認した。 ※今期の値は前期からの保管量です。(未開封未使用)	
次期目標値	使用量の把握と適切な管理	



■液化石油ガス使用量(LPG)

少量のため、目標数値は立てていませんが、活動は行っています。



実績値及び取り組み結果とその評価

※売上比は参考値です。

■総排水量

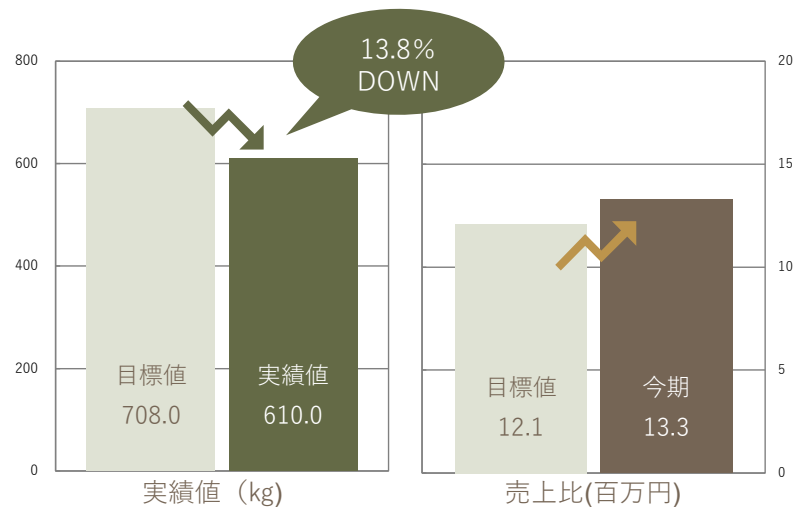
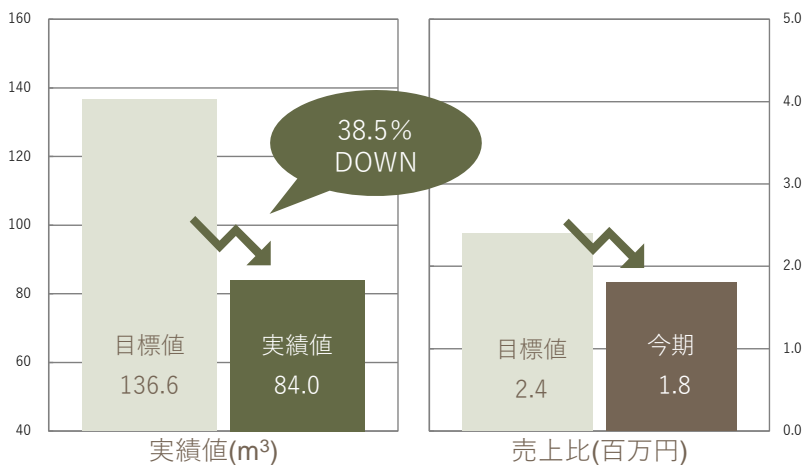
今期目標：実績値を評価対象とする。

-	実績値 (m ³)	売上比 (m ³ /百万円)
46期(基準値)	138.0	2.4
目標値(-1.0%)	136.6	2.4
50期(今期)	84.0	1.8
評価	○	-
	目標値より-38.5%で達成。引き続き、各自節水に取り組み排水量の削減に努める。	
次期目標値	-1.0%	-

■廃棄物排出量

今期目標：実績値を評価対象とする。

-	実績値 (kg)	売上比 (kg/百万円)
46期(基準値)	708.0	12.1
目標値	現状維持	-
50期(今期)	610.0	13.3
評価	○	-
	目標値より-13.8%で達成。次期より-1.0%を目標値として更なる削減に努めていく。	
次期目標値	-1.0%	-



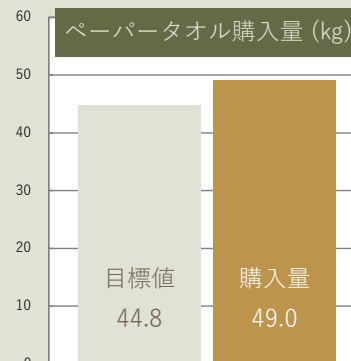
実績値及び取り組み結果とその評価

■自らが生産・販売・提供する製品サービスに関する環境配慮 今期目標：不良率0.1%以下

-	実績値 (%)	売上比 (%/百万円)
46期(基準値)	0.1	-
目標値	0.1%以下	-
50期(今期)	0.073	-
評価	○	-
	不良率を目標値以下で抑えることが出来た。 引き続き、不良品排出の抑制に取り組んでいく。	
次期目標値	不良率0.1%以下の維持	

■その他の活動：ペーパータオルの節約

ペーパータオル使用量の削減・節約を呼びかけています。
目標：48期-20%(10kg削減) 今期使用量：-12.5%(7.0kg削減)



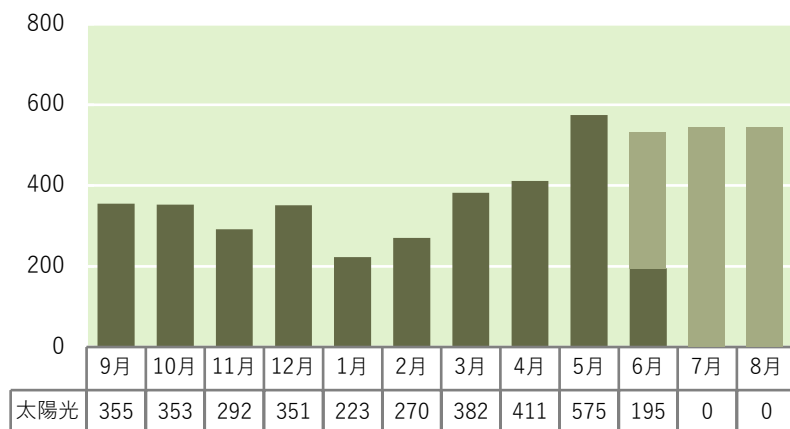
目標には届かず、前期に引き続き今期も12.5%の削減となりました。

引き続き、節約意識の向上に努めるように呼びかけをします。

1枚づつ大事に
使いましょう！



■その他の活動：太陽光発電量の計測



■…予測値 ※6月中旬より計測停止中。(発電機の取替を検討中です)

今期の太陽光発電量：3,407kWh (9月~6月)

換算すると...月平均で約9.9%相当の電力を太陽光発電で賄いました。



次年度の具体的な環境経営計画

取り組み項目	環境経営計画	次年度の具体的な計画内容	2024年度 51期 目標値	2025年度 52期 目標値	2026年度 53期 目標値
電力使用量	エアコンの温度設定(夏季26°C冬季20°C) エアコンのフィルター清掃(1か月毎) 作業時間外の照明、PCモニターの消灯 クールビス、ウォームビスによるエアコン抑制 冷暖房の風を攪拌し、効率を上げる。(扇風機等)	CO ₂ 排出量ゼロの電力会社の検索	-1.0%	-1.0%	-1.0%
ガソリン使用量	エコドライブの遵守 (不要なアイドリングや急発進をしない) 社用車の整備点検 宅配便・公共機関の利用	エコドライブ遵守の呼びかけ・再確認	現状維持	-1.0%	-1.0%
水使用量	節水ラベル表示 バルブ調整による節水 雨水等の利用	漏水チェック	-1.0%	-1.0%	-1.0%
廃棄物排出量	コピー用紙の再利用 ゴミの分別管理 運送資材の返却 リサイクル材の有効利用	ペーパータオルの節約 梱包材・緩衝材の簡易化	-1.0%	-1.0%	-1.0%
化学物質使用量	揮発を抑える使用・保管方法	保管容器のチェック	使用量の把握と適切な管理		
自らが生産・販売・提供する製品サービスに関する環境配慮	環境負荷の少ない加工方法の採用 不良部品への対策 材料購入や端材管理の教育	品質目標0.1%以下の周知	不良率0.1%以下の維持		

代表者による全体の評価

■今期未達成の項目について以下の対策を検討する。

今期未達成項目→ 電力使用量 ガソリン使用量

・電力使用量

夏期のエアコン稼働率・機械稼働率の上昇により、今期は目標未達成となった。

電力デマンドを活用して温度管理を遵守し、引き続きCO₂排出量ゼロの電力会社を検討すること。

・ガソリン使用量

配送先の増加、及びそれに伴う社用車の使用回数が増加したため、今期は目標未達成となった。

運転者に改めてエコドライブの遵守を呼びかけ、各自再確認すること。

・環境経営方針	変更の必要性	あり	なし
・環境経営目標	変更の必要性	あり	なし
・環境経営計画	変更の必要性	あり	なし
・経営実施体制	変更の必要性	あり	なし
・環境経営システム	変更の必要性	あり	なし



環境関連法規等への違反、訴訟などの有無

適用法規	条項	遵守事項	違反訴訟の有無
01. 騒音規制法	第04条 第06条	該当機器の規制基準の遵守 事前届出	無し
02. 振動規制法	第04条 第06条	該当機器の規制基準の遵守 事前届出	無し
03. 悪臭防止法	第07条 第10条	規制基準の順守	無し
04. 廃棄物処理法	第06条 第12条	分別基準の順守 一般廃棄物の適正な廃棄処理の委託 産業廃棄物の適正な廃棄処理の委託 マニフェストの適正な管理 一般廃棄物・産業廃棄物の看板掲示	無し
05. 浄化槽法	第10条 第11条	機器の点検(年3回)及び清掃 水質調査(年1回)	無し
06. 労働安全衛生法	第01条	労働者の安全と健康の確保 快適な職場環境の形成促進	無し
07. 道路交通法	第62条	整備不良車両の運転の禁止	無し
08. 埼玉県生活環境保全条例	第46条	自動車等の適正な整備、適切な運転	無し
09. フロン排出抑制法	第16条	業務用冷凍空調機器の簡易点検 (四半期に1回)	無し
10. その他顧客要求事項	-	RoHS指令(EU)等	無し

環境関連法規の法律違反に関する指摘、及び指導などは2006年4月より一切ありません。

又、訴訟や周囲の苦情なども同様にありません。